

## ナミビア科学技術大学（NUST）・JICA・麻妻大使による意見交換 （令和7年8月20日）

令和7年8月20日、麻妻大使は、ナミビア科学技術大学（NUST）のナオマブ（Prof. Erolid Naomab）副学長とその代表団、星野明彦 JICA ナミビア支所長および JICA 技術協力案件の雇用能力向上プログラム（EIP）を実施する篠崎利恵 JICA 専門家との意見交換会を主催しました。

NUST は、JICA が導入した EIP を、大きな成果を上げている取り組みとして高く評価し、麻妻大使は EIP チームを称賛するとともに、今後の更なる成功を祈念しました。

EIP は、ナミビアと日本の二国間技術協力プロジェクトであり、JICA と NUST が実施しています。

面談中、JICA と NUST が、ナミビアの雇用創出と若者の教育に対して、どのように貢献を強化できるかが議論されました。また、日本とナミビアの産学官の協力の可能性や、ナミビアへの投資に関心を持つ日本企業が増えていることについても意見交換が行われました。



（左より）星野 JICA ナミビア支所長、トゥアウンドゥ博士（NUST）、篠崎専門家（JICA）、ナオマブ NUST 副学長、麻妻大使、カペルワ教員（NUST）